

介護実習Ⅲ

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 実習

単位数 2

【授業のねらい】

講義・演習における学びを基本とし、高齢者および障がい者施設で生活する利用者を理解し、その介護を具体的にアセスメントする。また、日常生活に必要な支援技術を実践することで、介護技術を習得する。

【授業の展開計画】

【科目担当者実務経験】

(吉岡) 大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、
介護福祉士養成校教員 他
(馬場) 介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

【実習の概要】

- ・生活支援技術が必要な高齢者及び障がい者の生活を夜間の状況を含めて理解する。
- ・適正な介護技術の提供のための利用者理解とアセスメントを行い、課題の抽出と目標の設定を行うことで、尊厳に基づいた個別性のある介護を考える。
- ・カンファレンスの意義やあり方、連携の必要性を理解し、チームアプローチを学ぶ。

【実習内容】

1. 様々な情報源から、日常生活に支障のある高齢者や障がい者の生活を把握し、その介護ニーズを見出す。
2. 生活の困難に応じた介護技術の提供方法を習得する。
3. 尊厳を重視する介護について学ぶ。
4. 施設における介護の実践が終日継続されていることを体験し、連携の必要性を学ぶ。

【履修上の注意事項】

実習生としてふさわしい学習態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと

実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること（60分）

実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと（60分）

【評価方法】

施設評価：60% 教員評価：30% その他提出物等：10%

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集「介護総合演習・介護実習」 中央法規

【参考文献】

本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等